

中米シャーガス病対策協力 写真集

①グアテマラ



昆虫学の研修を受ける青年海外協力隊員とJICA専門家。写真奥から手前に向かって2人目が高岡秀行、3番目が野並丈朗、一番手前が専門家の中川淳。2000年5月。



カウンターパートとともにグアテマラの山中にて。JICA専門家中川淳(左)と医昆虫学研究室長ハイメ・フアレス(右)。2002年2月。



「シャーガス病の日Día de Chagas」啓発イベントでサシガメに扮して踊る小学生。モユタ市のサンイシドロ小学校にて。「シャーガス病の日」は7月9日。この病気の発見者カルロス・シャーガスの誕生日にちなんだ。毎年この日には、中米各国の各地で啓発の催しがある。2001年7月



プロジェクト終了時合同評価で集落現場を視察している様子。写真右からJICA職員、JICA国際協力専門員山形洋一、汎米州保健機関(PAHO)職員、村の住民、保健省職員。 2005年5月。



小島路生JICA専門家(左端)と、応用昆虫学研究室長カルロッタ・モンロイ(右から2人目)。2006年9月。